



9/29

普天間飛行場SMP(シングル・マリン・プログラム)によるはごろも祭り翌日のボランティア



宜野湾海浜公園多目的広場で、はごろも祭り翌日の清掃が行われました。はごろも祭り出店業者からの参加者約50名に加え、宜野湾市からボランティア派遣依頼を受けた普天間飛行場SMP(※)から約20名が参加しました。毎年、祭り翌日の会場には焼き鳥の串などのゴミが落ちており、ゴミ拾いをすることで広場を安全で清潔に保っています。(※SMP…米海兵隊及び海軍に所属する独身・単身隊員のための団体であり、主にボランティア活動を行っている)

10/6

鮮やかな演奏、華やかな行進!

九州マーチングコンテスト出場!



九州マーチングコンテストへの出場を決めた真志喜中学校吹奏楽部の皆さんが市役所を訪れ、佐喜眞市長を表敬訪問しました。同部は、5年間休止していたマーチング活動を昨年度に再開。顧問の中里先生の指導のもと、基礎から練習を重ね、県マーチングフェスティバルで見事金賞を受賞し、8年ぶりの九州大会出場を果たしました。部長の中野穂南さんは「目標だった九州大会に出場できてとてもうれしい。良い結果を残せるよう頑張ります」と笑顔で話し、副部長の永山陽樹さん、池宮城凜さんも「仲間と感謝の気持ちを大切に、舞台を楽しみたい」と抱負を語りました。

～寄附・寄贈など～ 温かいご支援ありがとうございます



沖縄県労働金庫

企業版ふるさと納税 寄附額3,000,000円



9/10

小さな体に大きな闘志!県大会優勝おめでとう! 宜野湾署スポーツ少年団柔道部 快挙!



8月に県立武道館で開催された「第45回新報児童オリンピック柔道大会」において、見事な成績を収め、佐喜眞市長を表敬訪問しました。金城大輝監督は、大会結果について「優勝4名、準優勝4名、3位4名、合計12名もの選手がメダルを獲得できた」と報告。これは過去10年間で最高の成績であり、チームの努力と成長を示すものとなりました。日頃から温かい応援を寄せる保護者や地域の皆さま、関係各位に深く感謝の意を述べました。

9/15

100歳!長寿!チャーガンじゅー

令和7年度 慶祝訪問

宜野湾市では、9月の敬老の日に合わせて、ご長寿をお祝いし、100歳を迎える皆さまのうち、希望された方へ慶祝訪問を行っています。今年度、宜野湾市では32名の方が100歳を迎えられることを受け、大山在住の伊佐眞徳さんのお宅を訪問しました。訪問の際、伊佐さんは「スポーツが好きだから、長生きできているのではないかと思います」と笑顔で語り、その言葉通り、現在も心身ともに元気で、身の回りのことはご自身でこなし、夕食後の食器洗いを日課とされています。伊佐さんには、内閣総理大臣および玉城デニー沖縄県知事からの祝状が伝達され、宜野湾市から祝状とお祝い金および記念品が贈呈されました。



9/21

研ぎ澄まされた渾身の一撃

第36回 宜野湾市長杯剣道大会



宜野湾市立体育館にて「第36回宜野湾市長杯剣道大会」が開催されました。競技は、所作や打ち込みの正確さを審査する「基本競技の部」と、学年や年代別に分かれて行われる「試合競技」に分かれて実施されました。基本競技の部では、小学3年生以下の選手たちが「ヤー!メーン!」と元気いっぱい声を響かせ、日頃の稽古の成果を披露。続く試合競技では、低学年ながらも果敢に竹刀を振る小学生から、一瞬の攻防に会場がどよめく中学生まで、迫力ある試合が次々と繰り広げられました。

9/10

「水が生き 暮らしも活きる 下水道」 下水道の日



市上下水道局では、市役所正面玄関前で、下水道の目的や役割がわかるパネル展示、下水道なんでも相談窓口を設置。下水道接続促進広報入りうちわや絆創膏のグッズ配布に加えて、市上下水道局のキャラクター「みじたまくん」、琉球ゴールデンキングススコット「ゴードー」も参加し、下水道の日をPRしました。

9/8

「反射材 わたしとかがやく 夜の道」 秋の全国交通安全運動宜野湾市地区出発式



「令和7年 秋の全国交通安全運動(9/21～9/30)」において宜野湾市交通安全推進協議会・宜野湾警察署・宜野湾地区交通安全協会主催の出発式が開催されました。交通事故防止の徹底に向け、普天間高校生徒会の田中汐里さん、城間佳蓮さん、上間淳希さんによる交通安全宣言が行われ、「交通事故のない、安心・安全な宜野湾市、そして沖縄県であり続けることを願います」と力強く宣言してくれました。

8/28 10/3

全国高校野球選手権大会優勝おめでとう! 沖縄尚学高校 嶺井駿輔選手 市長&普天間中へ優勝報告



8/27

国際的な人材育成を目的に! 中国廈門理工学院留学生派遣事業



中国廈門理工学院留学生派遣事業の第19期生・比嘉茉莉白さんが帰国報告を、第20期生・桑江夏海さんが出発報告を行うため、市役所を訪れました。令和6年9月から令和7年7月まで留学していた比嘉さんは「今回の留学で中国語の習得はもちろん、人間性の成長も実感できました」と成果を報告しました。一方、令和7年9月から派遣される桑江さんは「100%、いや120%の気持ちで留学生活を楽しみ、学びたいと思います」と抱負を語りました。

9/2

世界にはばたく「宜野湾っ子」 中学生短期海外留学派遣事業報告会



新型コロナの影響で中断していた「中学生短期海外留学派遣事業」が6年ぶりに再開されました。留学先では、午前中の英会話レッスンや、マイクロソフト本社、ビル・ゲイツ財団など世界をリードする企業の訪問、ボランティア活動やホームステイを通して異文化を体験。「間違いを恐れず積極的に話すことで英語が楽しくなった」「将来、沖縄と世界をつなぐ架け橋になりたい」と語り、自信と成長を実感した様子でした。

第107回全国高校野球選手権大会で見事優勝を果たした沖縄尚学高校の副主将・嶺井駿輔選手が、優勝メダルを携えて市役所を訪れ、佐喜眞市長や伊波教育長をはじめ、約70名の職員から盛大な祝福を受けました。

嶺井駿輔選手は「こうやって日本一になれたのは、現地で応援してくださった県民の方々や、沖縄で応援してくださった県民の皆さまの応援のおかげだと思っています。もちろん、宜野湾市民の方々の応援も力になりました。最高な仲間と、最高な場所で、最高の夏を過ごすことができ、とても良かったです。たくさん支えてくださった方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました」と述べられました。

また、母校の普天間中学校を訪れ、恩師へ優勝報告と、甲子園の土を由校長に寄贈しました。嶺井選手は、懐かしい先生方との再会に「中学時代に学んだことが今の自分の基礎になっています。たくさんの方々への応援が力になりました」と感謝の言葉を述べました。

由校長は「全国の舞台で素晴らしい結果を残してくれて本当に誇らしい。沖縄の高校野球の力を全国に示してくれた」と祝福しました。